

令和7年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科入試 絵画専修 出題意図

作品

提出作品において、作品として完成させる力、使用している材料や技法についての基礎的な理解と応用的な表現力、自身のテーマや着想をもとにした独創的な発想力や造形力などを確認し評価する。

実技試験

自身のテーマに基づいた素描やドローイングを描くことで、制作の方向性や意図を描画用具によってどのように視覚化するかを問う。制作のテーマに対する独自の解釈や思考力、また、技術力・表現力・創造性などから総合的に評価する。

面接

絵画分野において、幅広い教養と専門的素養を備えているかをみる。提出作品や実技作品などを総合的に評価し、専門的な知識を備えているか、現代社会において発信していく目的意識、意欲を備えているか、世界観に論理的な考察力を備えているかを確認する。

令和7年度

沖縄県立芸術大学大学院
環境造形専攻 絵画専修

実技試験問題

2月1日(土)

「あなたの制作のテーマに基づいた、素描またはドローイングを描きなさい。」

【留意事項】

- ・画面の縦横は自由です。
- ・試験時間は、13:00 から 16:00 までの 3 時間です。
- ・他の受験者の迷惑にならない範囲で、イーゼルや椅子を移動することは可能です。
- ・出題に関する質問は受け付けません。